



J X手順_T F 6 G接続限定用 業務マニュアル【画面・詳細編】

【 第 1.1 版 】

2022年06月20日

画面一覧

1. メインメニュー
2. データ受信画面
3. データファイル出力画面
4. データ送信画面
5. 利用会社マスタメンテナンス画面
6. 各種設定業務メニュー画面
7. 通信設定画面
8. 通信ファイル設定画面
9. 退避復元設定画面
10. スケジューラ設定画面
11. データ整理設定画面

画面名 メインメニュー

画面内容

画面レイアウト

iTERAN/AE for .NET version 8.4.3

サポートサイト お知らせ バージョン システム情報 全履歴照会 初期一括設定 利用会社の登録 閉じる(F12)

iTERAN/AE
WebOrdering & Reporting System

version 8.4.3 6G対応版

チェーン 00000000000001: J X 手順 __ T F 6 G 接続

利用会社 11111: 利用会社 1

データ受信 ファイル出力 データ送信

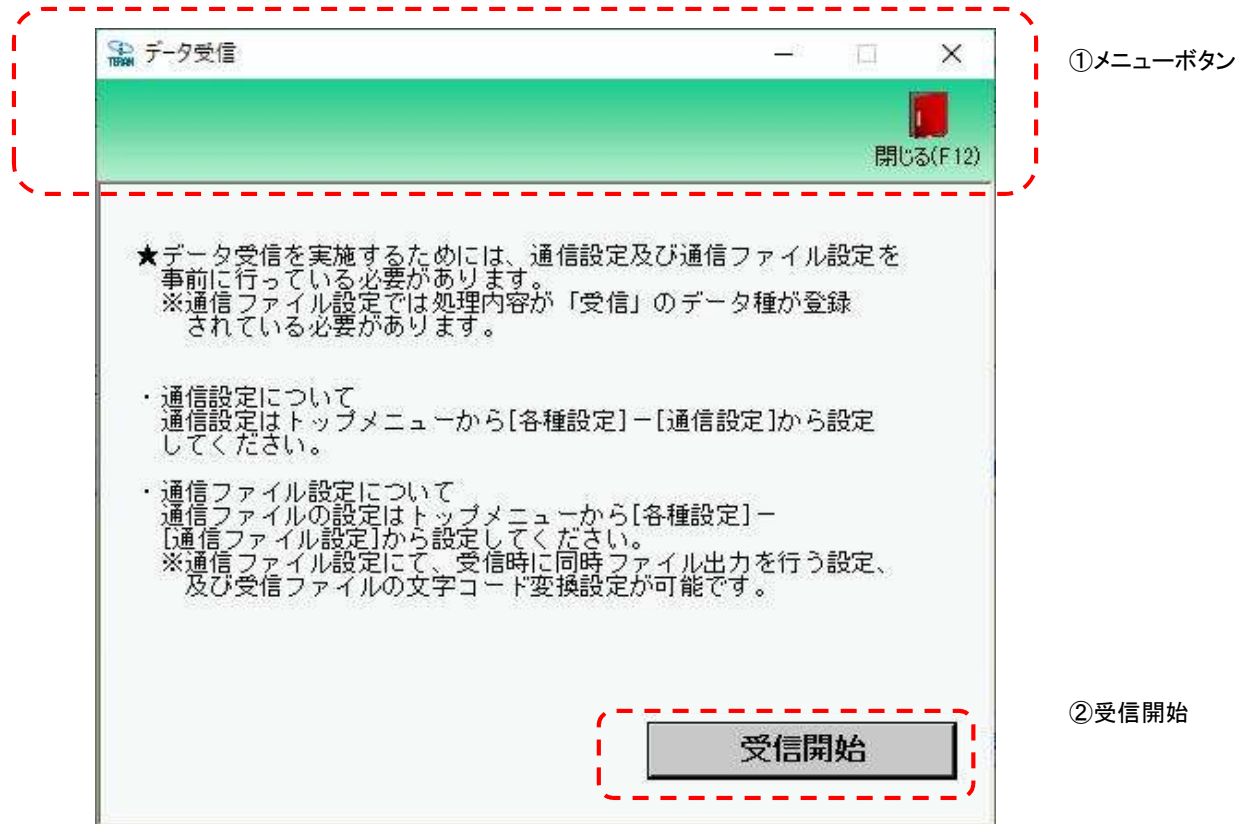
各種設定 履歴照会

Copyright©FUJITSU Japan CORPORATION All Rights Reserved

画面名	データ受信
-----	-------

画面内容	通信ファイル設定にて設定したデータ種(処理内容:受信)のデータを受信します 通信ファイル設定にて設定した場所/ファイル名にて受信したファイルを出力することができます
------	---

画面レイアウト



画面名	データ受信
-----	-------

画面操作方法
◆データを受信する ①『受信開始』ボタンを押すことで受信が開始されます ※受信と同時にファイル出力を行いたい場合は、通信ファイル設定画面にて設定してください

画面名 データファイル出力

画面内容 受信したデータの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled 'データファイル出力' (Data File Output). The dialog has a green header bar with a red 'X' button and the text '開じる(F12)'. Below the header is a section labeled '出力条件' (Output Conditions) containing two dropdown menus: 'データ種' (Data Type) and '受信日時' (Reception Date/Time). Below this is a section labeled '出力ファイルパス' (Output File Path) with a text input field and a blue '参照' (Reference) button. At the bottom is a grey button labeled '出力処理開始' (Start Output Processing). Red dashed boxes and numbers 1 through 4 point to these elements: 1 points to the green header bar, 2 points to the '出力条件' section, 3 points to the '出力ファイルパス' section, and 4 points to the '出力処理開始' button.

①メニューボタン

②出力条件

③出力ファイルパス

④出力処理開始

画面名	データファイル出力
-----	-----------

画面操作方法

◆データをファイル出力する

- ①.出力条件[データ種]と[受信日時]を各コンボボックスにて指定します
- ②.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③.出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	データファイル出力
-----	-----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、メインメニューへ戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力条件 ※②出力条件	・「②出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます 「データ種」コンボボックス選択後に「受信日時」コンボボックスの値が対象データ種のリストに変更されます そのため、「データ種」「受信日時」を選択した状態で「データ種」を変更すると「受信日時」は未選択の状態になります ----- 初期表示状態 ・データ種コンボボックスが選択可能な状態、受信日時コンボボックスは選択不可な状態 ※データ種コンボボックスを選択し、出力可能データがある場合は受信日時コンボボックスが選択可能となります
出力ファイルパス ※③出力ファイルパス	・「②出力条件」「出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力開始ボタン ※④出力処理開始	・「②出力条件」「③出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	データファイル出力
-----	-----------

表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の「データ種」コンボボックスには、 通信ファイル設定画面で設定した「処理内容:受信」のデータ種のリストが表示される 「②出力条件」の「受信日時」コンボボックスには、 「データ種」コンボボックスで選択されたデータ種の受信したファイルの受信日時のリストが表示される
--------------------	---

表示並び順 ※②出力条件	データ種	データ種(通信ファイル設定登録順)
	受信日時	ファイル受信日時(降順)

画面名 データ送信

画面内容 通信ファイル設定にて設定したデータ種(処理内容:送信)のデータを送信します
送信ファイルは指定したファイル(形式は問わない)を送信します

画面レイアウト

データ送信

開じる(F12)

対象

データ種

入力ファイルパス 参照

☐ 送信後に送信ファイルを削除する

送信開始

ファイル送信履歴

送信日時	データ種	ファイルパス	ファイルサイズ
2021/10/20 10:25:12	受注	C:\Temp\SHIP20211020.dat	1,289
2021/10/21 10:01:22	買掛	C:\Temp\SHIP20211021.dat	680

①メニューボタン

②対象

③送信開始

④ファイル送信履歴

画面名	データ送信
-----	-------

画面操作方法

◆データを送信する

- ①.送信するデータ種を指定します
- ②.送信する対象のファイルを指定します
- ③.送信対象の指定が終わったら、『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます

※必要な場合、「送信後に送信ファイルを削除する」にチェックしてください
(チェックしない場合、送信対象に指定したファイルは削除されません)

※ファイル送信履歴の保有期間は1ヵ月間になります
1ヵ月を超えた履歴は当画面クローズ時に削除されます

画面名	データ送信
-----	-------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、メインメニューへ戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
送信対象 ※②対象	・「②対象」内にて「データ種」と「入力ファイルパス」(送信対象のファイルパス)を指定します ----- 初期表示状態 ・『データ種』は未選択、『入力ファイルパス』は未入力の状態
送信後に送信ファイルを削除するチェック ※③送信開始	・チェックされている場合、送信時に「入力ファイルパス」(送信対象のファイルパス)にて指定されたファイルを送信後に削除します ※未チェックの場合は送信対象ファイルは削除されません ※チェックされている状態での通信エラー(正常に送信できていない)の場合は送信対象ファイルは削除されません ----- 初期表示状態 ・未チェックの状態 ※前回の画面状態を保持するため、前回画面展開時にチェックをした場合はチェックされている状態で表示される ※画面クローズ時にチェック状態を保存します
送信開始ボタン ※③送信開始	・「②対象」で選択した送信対象ファイルを指定した「データ種」として送信します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル送信履歴 ※④ファイル送信履歴	・送信したファイルの履歴を表示します ※送信履歴の保有期間は1ヵ月となり、1ヵ月を超えた履歴は削除されます(保有期間の設定はできません) ----- 初期表示状態 ・送信した履歴が表示される ※送信を行っていない場合は履歴表示なし

画面名	データ送信
-----	-------

表示対象データ	「②対象」の「データ種」コンボボックスには、 通信ファイル設定画面で設定した「処理内容:送信」のデータ種のリストが表示される 「④ファイル送信履歴」には、該当利用会社で送信したデータファイルの履歴が表示される
---------	--

表示並び順	データ種 ※②対象	データ種(通信ファイル設定登録順)
	ファイル送信履歴一覧 ※④ファイル送信履歴	送信日時(降順)

画面名 利用会社マスタメンテナンス

画面内容	利用会社マスタの新規作成、変更、削除を行います ※当パターンファイルでは利用会社コードによる受送信時のチェックは行われないため、任意の値で問題ありません。 ご利用に当たり、運用しやすいように利用会社コードは連番(“000001”、“000002”など)を推奨します。 利用会社名(漢字/カナ)には、接続先の名称などをつけ運用しやすいようわかりやすくすることを推奨します。
------	--

画面レイアウト

①メニューボタン

②利用会社コード

③設定情報

画面操作方法

◆ 利用会社の新規作成を行う

- ①.新規作成する場合、『利用会社コード』コンボボックスに該当の利用会社コードを入力します
- ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを新規作成する場合は『新規』ボタンを押します
- ③.『利用会社名(漢字)』等を入力します
- ④.『保存』ボタンを押すことで、新規登録を確定します

◆ 利用会社の変更を行う

- ①.変更する場合、『利用会社コード』コンボボックスに対象とする利用会社コードを入力/選択します
- ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを変更する場合は『変更』ボタンを押下します
- ③.『利用会社名(漢字)』等を入力/訂正します
- ④.『保存』ボタンを押すことで、変更を確定します

◆ 利用会社の削除を行う

- ①.削除する場合は、『利用会社コード』コンボボックスに対象とする利用会社コードを入力/選択します
- ②.①で入力/選択した利用会社コードのデータを削除する場合は『削除』ボタンを押下します
- ③.『保存』ボタンを押すことで、削除を確定します

画面名	利用会社マスタメンテ
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、トップメニューに戻ります ※データ設定中であった場合も、警告無しにトップメニューに戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、警告無しで初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・新規/変更時は「②利用会社コード」「③設定情報」に入力/変更したデータを保存します 削除時は『利用会社コード』コンボボックスで選択したデータを削除します ・保存後は「②利用会社コード」「③設定情報」をクリアし、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『利用会社コード』コンボボックスに入力した「利用会社コード」に該当するデータの新規作成を行います ・『新規』ボタン押下後、「③設定情報」を入力/選択可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『利用会社コード』コンボボックスに入力/選択した「利用会社コード」に該当するデータの変更を行います ・『変更』ボタン押下後、『利用会社コード』コンボボックスに表示されている「利用会社コード」に 該当するデータを「③設定情報」を入力/選択可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『利用会社コード』コンボボックスに入力した「利用会社コード」に該当するデータの削除を行います ・『削除』ボタン押下後、「③設定情報」を入力/選択不可な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』ボタンは押下可能な状態になります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
利用会社コードコンボボックス ※②利用会社コード	・『利用会社コード』コンボボックスに表示されている「利用会社コード」に該当するデータが、当画面での作成/変更/削除対象になります
	初期表示状態 ・空表示し、入力/選択可能な状態になります
設定情報入力欄 ※③設定情報	・『利用会社コード』コンボボックスに表示されている「利用会社コード」に該当するデータを表示します ※新規作成時は、全ての項目が空の状態が表示されます
	初期表示状態 ・『新規』『変更』ボタンを押下した場合、入力/選択可能な状態になります ・『削除』ボタンを押下した場合、入力/選択不可な状態になります

画面名	利用会社マスタメンテナンス
-----	---------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・利用会社マスタ
---------	------------------------------------

表示並び順	利用会社コード ※②利用会社コード	利用会社コード(昇順)
-------	----------------------	-------------

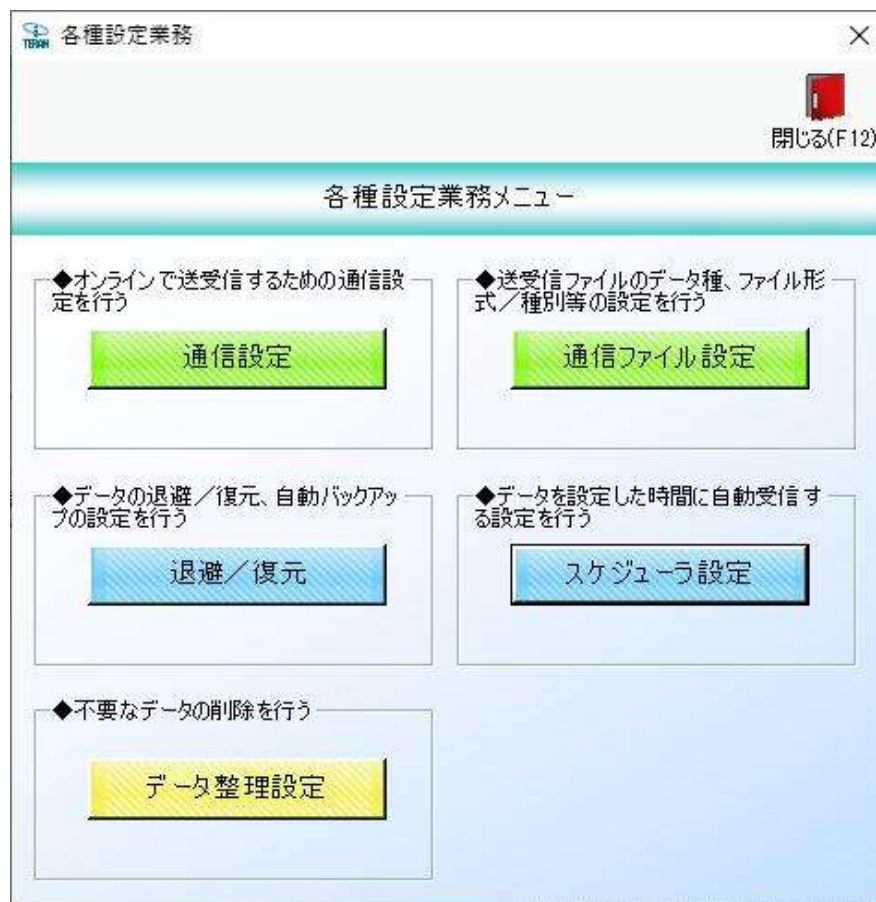
画面名	利用会社マスタメンテナンス
-----	---------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(データベース項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②利用会社コード	利用会社コード	利用会社コード／ 請求取引先コード／ 取引先コード	半角数字	13	—	—	入力・選択	○	半角数字のみ	
2	③設定情報	利用会社名(漢字)	請求取引先名(漢字)／ 取引先名(漢字)	全角文字	20	—	—	入力	○	全角文字のみ	
3	③設定情報	利用会社名(カナ)	請求取引先名(カナ)／ 取引先名(カナ)	半角文字	20	—	—	入力	○	半角文字のみ	
4	③設定情報	登録日時	登録日	日付/時刻	14	—	YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
5	③設定情報	更新日時	更新日	日付/時刻	14	—	YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

画面名	各種設定メニュー画面
-----	------------

画面内容	各種設定メニュー
------	----------

画面レイアウト



画面名 通信設定画面

画面内容 通信アプリ(ACMSLiteNeo)の通信情報を設定する画面です

画面レイアウト

The screenshot shows a window titled "JX手順【ACMSLiteNeo】通信設定画面". The window has a green header bar with three buttons: "保存(F4)" (Save), "キャンセル(F9)" (Cancel), and "閉じる(F12)" (Close). Below the header, the title "ACMSLiteNeo通信アプリ設定" is displayed. The main content area is divided into five sections, each enclosed in a red dashed box and labeled on the right:

- ①メニューボタン: The green header bar containing the Save, Cancel, and Close buttons.
- ②通信基本情報: A section titled "通信基本情報" containing five input fields: "接続先URL", "相手先URI", "相手先識別子", "当方URI", and "当方識別子".
- ③ベーシック認証情報: A section titled "ベーシック認証" containing a checkbox "ベーシック認証を利用する", and two input fields: "ベーシック認証ID" and "ベーシック認証パスワード".
- ④クライアント認証情報: A section titled "クライアント認証" containing a checkbox "クライアント認証を利用する", two input fields: "クライアント証明書パス" and "クライアント証明書パスワード", and a "参照" (Reference) button.
- ⑤プロキシサーバ情報: A section titled "プロキシサーバ" containing two radio buttons: "IEと同じ設定を利用" (selected) and "個別に設定", and a checkbox "プロキシサーバを利用する". If the checkbox is selected, three input fields are shown: "プロキシサーバ", "プロキシユーザ", and "プロキシパスワード".

画面名	通信設定画面
-----	--------

画面操作方法

◆通信設定を保存する

- ①.通信基本情報を全て入力します
- ②.ベーシック認証の場合は、[ベーシック認証を利用する]にチェックし、[ベーシック認証ID][ベーシック認証パスワード]を入力します
クライアント認証の場合は、[クライアント認証を利用する]にチェックし、[クライアント証明書パス]を選択または入力し、
[クライアント証明書パスワード]を入力します
- ③.プロキシサーバを利用し、個別に設定が必要な場合は[個別に設定]に変更後、[プロキシサーバを利用する]にチェックし必要情報を入力します
※個別に設定する必要がない場合は、プロキシ設定は必要ありません
- ④.必要情報設定後、保存ボタンを押します

画面名	通信設定画面
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、各種設定メニューへ戻ります 初期表示状態 ・押下可能の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・通信基本情報等の設定内容を保存します 初期表示状態 ・押下可能の状態
キャンセルボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・入力内容を破棄して編集前の状態に戻します ※確認メッセージが表示されます 初期表示状態 ・押下可能の状態
通信基本情報 ②通信基本情報	・設定された通信基本情報を表示します 初期表示状態 ・「接続先URL」に“https://bmsgw.tradefront.ne.jp/jx/”が表示され入力可能な状態 ・「接続先URL」以外の項目は全て入力可能／未入力な状態
ベーシック認証 ③ベーシック認証情報	・設定されたベーシック認証情報を表示します ・「ベーシック認証を利用する」にチェックすると、「ベーシック認証ID」「ベーシック認証パスワード」が入力可能になります 初期表示状態 ・「ベーシック認証を利用する」が未チェックの状態 ・「ベーシック認証ID」「ベーシック認証パスワード」が入力不可／未入力な状態
クライアント認証 ④クライアント認証情報	・設定されたクライアント認証情報を表示します ・「クライアント認証を利用する」にチェックすると、「クライアント証明書パス」クライアント証明書パスワード」が入力可能、参照ボタンが押下可能になります 初期表示状態 ・「クライアント認証を利用する」が未チェックの状態 ・「クライアント証明書パス」クライアント証明書パスワード」が入力不可／未入力な状態 ・参照ボタンが押下不可な状態
プロキシサーバ情報 ⑤プロキシサーバ情報	・設定されたプロキシサーバ情報を表示します ・「個別に設定」を選択すると、「プロキシサーバを利用する」チェック可能になります ・「プロキシサーバを利用する」にチェックすると、「プロキシサーバ」「プロキシユーザ」「プロキシパスワード」が入力可能になります 初期表示状態 ・「IEと同じ設定を利用」が選択された状態 ・「プロキシサーバを利用する」は未チェック、チェック不可な状態 ・「プロキシサーバ」「プロキシユーザ」「プロキシパスワード」は入力不可／未入力な状態

画面名	通信設定画面
-----	--------

表示対象データ	・トップメニューで選択した利用会社の通信設定情報を表示
---------	-----------------------------

表示並び順	
-------	--

画面名	通信設定画面
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②通信基本情報	接続先URL	接続先URLを設定	文字列	—			入力	○	TF6G制限 チェック	
2	②通信基本情報	相手先URI	接続先サーバのURIを設定	文字列	—			入力	○		
3	②通信基本情報	相手先識別子	接続先サーバの識別子を設定	文字列	—			入力	○		
4	②通信基本情報	当方URI	ユーザ側のURIを設定	文字列	—			入力	○		
5	②通信基本情報	当方識別子	ユーザ側の識別子を設定	文字列	—			入力	○		
6	③ベーシック認証情報	ベーシック認証を利用する	ベーシック認証を利用する場合はチェックします	—	—			チェック			
7	③ベーシック認証情報	ベーシック認証ID	ベーシック認証IDを入力します ※入力値に関しては、接続先から発行される接続情報をご参照ください	文字列	—			入力	※○		※ベーシック認証を利用する場合は必須
8	③ベーシック認証情報	ベーシック認証パスワード	ベーシック認証パスワードを入力します ※入力値に関しては、接続先から発行される接続情報をご参照ください	文字列	—			入力	※○		※ベーシック認証を利用する場合は必須
9	④クライアント認証情報	クライアント認証を利用する	クライアント認証を利用する場合はチェックします	—	—			チェック			
10	④クライアント認証情報	クライアント証明書パス	クライアント証明書ファイルのパスを選択／入力します ※証明書に関しては接続先にお問い合わせください	文字列	—			入力	※○		※クライアント認証を利用する場合は必須
11	④クライアント認証情報	クライアント証明書パスワード	クライアント証明書パスワードを入力します ※入力値に関しては接続先にお問い合わせ	文字列	—			入力	※○		※クライアント認証を利用する場合は必須
12	⑤プロキシサーバ情報	IEと同じ設定を利用	IEと同じ設定を利用する場合は選択	—	—			選択			
13	⑤プロキシサーバ情報	個別に設定	上記と異なり、個別に設定しなければいけない場合は選択 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご確認ください	—	—			選択			
14	⑤プロキシサーバ情報	プロキシサーバを利用する	プロキシサーバを利用する場合はチェックします	—	—			チェック			
15	⑤プロキシサーバ情報	プロキシサーバ	利用するプロキシサーバを入力します 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご確認ください	文字列	—			入力	※○		※プロキシサーバを利用する場合は必須
16	⑤プロキシサーバ情報	プロキシユーザ	利用するプロキシサーバのユーザを入力します 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご確認ください	文字列	—			入力			
17	⑤プロキシサーバ情報	プロキシパスワード	利用するプロキシサーバのユーザパスワードを入力します 詳しくは貴社のネットワーク管理者にご確認ください	文字列	—			入力			

画面名 通信ファイル設定画面

画面内容 送受信するデータ種のファイル設定を行います。
併せて、受信時のファイル出力設定／文字コード変換設定も行います。

画面レイアウト

【通信ファイル設定画面】

①メニューボタン

②通信ファイル設定一覧

③通信ファイル情報設定

選択	データ種名	処理内容	ドキュメント形式	ドキュメント種別
☐	受信データ1	0:受信	SecondGenEDI	ReceiveData1
☐	受信データ2	0:受信	SecondGenEDI	ReceiveData2
☐	送信データ1	1:送信	SencondGenEDI	SendData1

新規 変更 削除

通信ファイル情報

データ種名: データ種1 処理内容: 0:受信

ドキュメント形式: DocumentFormat1

ドキュメント種別: DocumentType1

☒ 受信時ファイル出力

出力フォルダ: C:\Temp 参照

出力ファイル名: DATA.dat

※既に出力フォルダに同じ名称のファイルが存在する場合、出力ファイルは「ファイル名 + 連番(+ 拡張子)」となります。
【例】出力ファイル名が「FILE.dat」で既に出力フォルダに「FILE.dat」が存在する場合、出力されるファイルは「FILE1.dat」となります。

☒ 文字コード変換

変換文字コード: 04:日立 EBCDIC日本語カタカナ拡張

オプション設定 保存 キャンセル

画面名 通信ファイル設定画面

画面レイアウト

【オプション設定画面】

オプション設定

◆改行コード

☒ 改行コードを付加する

付加する改行コード 任意コード

付加間隔

☐ 改行コードを削除する

削除する改行コード 任意コード

◆EOF設定

☒ EOFを付加する ☐ EOFを削除する

OK キャンセル

④改行コード設定

⑤EOF設定

⑥処理決定ボタン

画面操作方法

◆通信するデータ種の情報を登録する

- ①.「新規」ボタンを押します
- ②.「データ種」に登録するデータ種名を入力し、「処理内容」から[0:受信]または[1:送信]を選択します
- ③.[ドキュメント種別]、[ドキュメント形式]を入力します
※データ種のドキュメント種別／形式が不明の場合は接続先の問い合わせ窓口までお問い合わせください
- ④.「ファイル出力設定」の[出力フォルダ指定]にファイル出力場所を指定し、[出力ファイル指定]に出力時のファイル名を指定します
※受信と同時にファイル出力しない場合、「受信時ファイル出力」チェックボックスのチェックを外してください
- ⑤.受信／送信時に文字コード変換を行う場合は、「文字コード変換」チェックボックスにチェックし「文字コード」コンボボックスから変換する文字コードを選択します
※文字コード変換を行わない場合、「文字コード変換」チェックボックスのチェックは付けないでください
- ⑥.オプション設定(改行コード付加／削除、EOF付加／削除)の設定を行う場合は[オプション設定]ボタンを押し、オプション設定画面にて設定をします
- ⑦.「保存」ボタンを押すことにより、一覧に指定したデータ種が表示され保存されます

◆通信するデータ種の変更する

- ①.通信ファイル設定一覧にて変更するデータ種の「選択」チェックボックスにチェックし、「変更」ボタンを押します
- ②.[データ種]、[ドキュメント種別]、[ドキュメント形式]等、変更したい情報を変更します
※オプション設定を変更したい場合は[オプション設定]ボタンを押し、情報を変更します
- ③.情報変更後、保存ボタンを押すことにより情報が更新され保存されます

◆通信するデータ種を削除する

- ①.通信ファイル設定一覧にて削除するデータ種の「選択」チェックボックスにチェックし、「削除」ボタンを押します
- ②.確認メッセージにて「はい」を押すことにより、一覧から指定したデータ種が削除されます

画面名	通信ファイル設定画面
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、各種設定メニューへ戻ります 初期表示状態 ・押下可能の状態
通信ファイル(データ種)一覧 ※②通信ファイル設定一覧	・設定したデータ種の通信ファイル情報一覧が表示されます 初期表示状態 ★データ種設定なし ・一覧表示なし ★データ種設定あり ・登録したデータ種の通信ファイル情報一覧が表示されます
新規ボタン ※②通信ファイル設定一覧	・新規データ種の通信ファイル情報の登録を行います ※新規ボタン押下後は③通信ファイル情報設定が有効化され情報が設定できるようになります 初期表示状態 ・押下可能の状態
変更ボタン ※②通信ファイル設定一覧	・登録済データ種の通信ファイル情報の変更を行います ※一覧からデータ種選択し変更ボタン押下後は③通信ファイル情報設定が有効化され情報が設定できるようになります 初期表示状態 ・押下可能の状態
削除ボタン ※②通信ファイル設定一覧	・登録済データ種の通信ファイル情報の削除を行います ※一覧からデータ種選択し削除ボタン押下後に一覧から削除されます 初期表示状態 ・押下可能の状態
受信時ファイル出力チェックボックス ※③通信ファイル情報設定	・受信と同時にファイル出力を行う場合はチェックをつけ、[出力フォルダ指定]、[出力ファイル指定]を設定します ※チェックを外すと、[出力フォルダ指定]、[出力ファイル指定]が入力不可、参照ボタンが押下不可になります ※チェックがついている場合は[出力フォルダ指定]、[出力ファイル指定]が保存時に必須項目になります 初期表示状態 ・チェック不可の状態 ※データ種で「0:受信」選択後はチェックがついている状態 ※変更ボタン押下後は対象データ種の保存されている状態
参照ボタン ※③通信ファイル情報設定	・フォルダ選択ダイアログを表示します ※フォルダ選択ダイアログで選択後に、選択されたフォルダのパスを[出力フォルダ指定]のテキストボックスに表示します 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※受信時ファイル出力チェックボックスにチェックをつけた場合は押下可能となります

機能名称	機能説明
文字コード変換チェックボックス ※③通信ファイル情報設定	・受信／送信時に受送信ファイルの文字コード変換を行う場合はチェックをつけ、変換する[文字コード]を設定します ※チェックを外すと、[文字コード]が選択不可になります ※チェックがついている場合は変換する[文字コード]が保存時に必須項目になります ----- 初期表示状態 ・チェック不可の状態 ※新規ボタン押下後はチェックがついていない状態 ※変更ボタン押下後は対象データ種の保存されている状態
保存ボタン ※③通信ファイル情報設定	・設定したデータ種の通信ファイル情報を保存します 保存後は一覧表示されます ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※新規／変更ボタン押下時に押下可能な状態になります
キャンセルボタン ※③通信ファイル情報設定	・入力内容を破棄して登録／変更ボタン押下前の画面状態に戻します ※確認メッセージが表示されます ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※新規／変更ボタン押下時に押下可能な状態になります
改行コードを付加する ※④改行コード設定	・受信／送信時に受送信ファイルの改行コードを付加したい場合はチェックをつけ、[付加する改行コード][付加間隔]を設定します ※チェックを外すと[付加する改行コード][付加間隔](及び[任意コード])は入力不可になります ※[付加する改行コード]にて「9:任意コード」選択時に[任意コード]が入力可能になります ※チェックがついている場合は[付加する改行コード][付加間隔]がOKボタン押下時に必須項目になります(任意コード選択時は[任意コード]も必須です) ----- 初期表示状態 ・チェック可能な状態(チェックボックス以外は無効な状態)
改行コードを削除する ※④改行コード設定	・受信／送信時に受送信ファイルの改行コードを削除したい場合はチェックをつけ、[削除する改行コード]を設定します ※チェックを外すと[削除する改行コード](及び[任意コード])は入力不可になります ※[削除する改行コード]にて「9:任意コード」選択時に[任意コード]が入力可能になります ※チェックがついている場合は[削除する改行コード]がOKボタン押下時に必須項目になります(任意コード選択時は[任意コード]も必須です) ----- 初期表示状態 ・チェック可能な状態(チェックボックス以外は無効な状態)
EOF設定 ※⑤EOF設定	・受信／送信時に受送信ファイルのEOFコード(0x1A)の付加／削除を行う場合は各チェックボックスにチェックし設定します ----- 初期表示状態 ・未チェックでチェック可能な状態

機能名称	機能説明
OKボタン ※⑥処理決定ボタン	・設定したオプション設定を確定し通信ファイル設定画面に戻ります（保存は通信ファイル設定画面で行います） 初期表示状態 ・押下可能な状態
キャンセルボタン ※⑥処理決定ボタン	・設定したオプション設定を破棄し通信ファイル設定画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	通信ファイル設定画面
-----	------------

表示対象データ	・登録されたデータ種の通信ファイル設定情報を表示 ※②通信ファイル設定一覧
---------	--

表示並び順	通信ファイル設定一覧 ※②通信ファイル設定一覧	データ登録昇順
	処理内容コンボボックス ※③通信ファイル情報設定	[0:受信]>[1:送信]
	文字コードコンボボックス ※③通信ファイル情報設定	文字コード昇順
	付加する改行コードコンボ ※④改行コード設定	改行コード昇順
	削除する改行コードコンボ ※④改行コード設定	改行コード昇順

画面名	通信ファイル設定画面
-----	------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②通信ファイル一覧	選択	選択チェックボックス	—	—			チェック			
2	②通信ファイル一覧	データ種	データ種名	文字列	20			不可			
3	②通信ファイル一覧	処理内容	処理内容(受信／送信)	文字列	—			不可			
4	②通信ファイル一覧	ドキュメント形式	ドキュメント形式	文字列	128			不可			
5	②通信ファイル一覧	ドキュメント種別	ドキュメント種別	文字列	128			不可			
6	③通信ファイル情報	データ種	データ種名	文字列	20			入力	○		
7	③通信ファイル情報	処理内容	処理内容(受信／送信)	文字列	—			選択	○		以下のリストから選択 0:受信 1:送信
8	③通信ファイル情報	ドキュメント形式	ドキュメント形式	文字列	128			入力	○		
9	③通信ファイル情報	ドキュメント種別	ドキュメント種別	文字列	128			チェック	○		
10	③通信ファイル情報	受信時ファイル出力	受信時ファイル出力チェックボックス	—	—			チェック			
11	③通信ファイル情報	出力フォルダ指定	出力フォルダパス	文字列	128			入力／選択	※○		※受信時ファイル出力を利用する場合は必須
12	③通信ファイル情報	出力ファイル指定	出力ファイル名(拡張子つきで設定)	文字列	30			入力	※○		※受信時ファイル出力を利用する場合は必須
13	③通信ファイル情報	文字コード変換	文字コード変換チェックボックス	—	—			チェック			
14	③通信ファイル情報	文字コード	変換文字コードリスト	—	—			選択	※○		以下のリストから選択 ★処理内容が“0:受信”の場合 01:IBM EBCDIC 02:IBM EBCDIC日本語カタカナ拡張 03:日立 EBCDIC 04:日立 EBCDIC日本語カタカナ拡張 05:NEC EBCDIC 06:NEC EBCDIC日本語カタカナ拡張 ★処理内容が“1:送信”の場合 11:IBM EBCDIC 12:IBM EBCDIC日本語カタカナ拡張 13:日立 EBCDIC 14:日立 EBCDIC日本語カタカナ拡張 15:NEC EBCDIC 16:NEC EBCDIC日本語カタカナ拡張 ※文字コード変換を利用する場合は必須
15	④改行コード設定	改行コードを付加する	改行コードを付加するチェックボックス	—	—			チェック			

16	④改行コード設定	付加する改行コード	改行コードリスト	—	—			選択	※○		以下のリストから選択 1:CR/LF 2:LF/CR 3:CR 4:LF 9:任意コード ※改行コードを付加を利用する場合は必須
17	④改行コード設定	任意コード(付加)	任意コード(16進数を指定)	文字列	2			入力	※○		※任意コードは16進数2桁のみ入力可能 ※付加する改行コードで[9:任意コード]を選択した場合は必須
18	④改行コード設定	付加間隔	付加間隔	数値	2147483647			入力	※○		※改行コードを付加を利用する場合は必須
19	④改行コード設定	改行コードを削除する	改行コードを削除するチェックボックス	—	—			チェック			
20	④改行コード設定	削除する改行コード	改行コードリスト	—	—			選択	※○		以下のリストから選択 1:CR/LF 2:LF/CR 3:CR 4:LF 9:任意コード ※改行コードを削除を利用する場合は必須
21	④改行コード設定	任意コード(削除)	任意コード(16進数を指定)	文字列	2			入力	※○		※任意コードは16進数2桁のみ入力可能 ※削除する改行コードで[9:任意コード]を選択した場合は必須
22	⑤EOF設定	EOFを付加する	EOFを付加するチェックボックス	—	—			チェック			
23	⑤EOF設定	EOFを削除する	EOFを削除するチェックボックス	—	—			チェック			

画面名 退避／復元設定画面

画面内容 iTERAN全体の自動バックアップ設定、及び退避／復元機能を実施する画面です
※退避／復元画面についてはiTERAN共通マニュアルをご参照ください

画面レイアウト

画面名	退避／復元設定画面
-----	-----------

画面操作方法

◆自動バックアップ設定を行う

- ①.自動バックアップ設定の項目から設定を選択します
- ②.「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます

◆退避を行う／復元を行う

- ①.「退避／復元画面を開く」ボタンを押します
- ②.表示された退避／復元画面にて実施します

※詳細はiTERAN共通マニュアルの退避／復元画面をご参照ください

画面名 スケジューラ設定画面

画面内容 スケジューラの起動設定、起動を行う画面です
※スケジューラについてはiTERAN共通マニュアルをご参照ください

画面レイアウト

iTERAN/AE共通設定

閉じる(F12)

iTERAN/AE共通設定

スケジューラ設定

回避/復元

iTERAN/AE共通設定画面で行った設定は、全てのチェーン、利用会社に共通で設定されます

スケジューラ自動起動設定

パソコン起動時に自動的にスケジューラを起動するか設定します

☒ 使用しない ☐ 使用する

保存

スケジューラ起動

今すぐスケジューラを起動する場合は、『スケジューラ 起動』ボタンを押してください

スケジューラ起動

スケジューラについての注意事項

- スケジューラに登録しているJOBの起動時間にiTERAN/AEが起動していると、JOBは実行されませんのでご注意ください
- スケジューラはパソコンがスタンバイ状態、未ログイン状態では起動しませんので、ご注意ください

①メニューボタン

②スケジューラ
自動起動設定

③スケジューラ起動

画面名	スケジューラ設定画面
-----	------------

画面操作方法

- ◆ iTERANスケジューラの自動起動設定を行う
 - ①. 自動バックアップ設定の項目から設定を選択します
 - ②. 「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます
 - ◆ iTERANスケジューラを今すぐ起動する
 - ①. 「スケジューラ起動」ボタンを押します
 - ②. iTERANスケジューラが起動され、タスクトレイにiTERANスケジューラアイコンが表示されます
- ※スケジューラについてはiTERAN共通マニュアルの「iTERAN/AE スケジューラ機能」をご参照ください

画面名 データ整理設定画面

画面内容 データ保有期間設定、データ整理実行、自動データ削除設定を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a software window titled 'J X 手順_ T F 6 G 接続限定用共通設定'. On the left is a sidebar with a button labeled 'データ整理設定'. The main area contains three sections, each enclosed in a dashed red box and numbered on the right:

- ①メニューボタン**: Points to a red '閉じる(F12)' button in the top right corner.
- ②保有期間設定**: Points to the '保有期間設定' section, which includes a text box 'データの保有期間を、0～12ヶ月の範囲で設定します', a label '保有期間' followed by a spinner box showing '3' and the unit 'ヶ月', and a '保存' button.
- ③データ整理実行**: Points to the 'データ整理実行' section, which includes explanatory text and a 'データ整理実行' button.
- ④自動データ削除設定**: Points to the '自動データ削除設定' section, which includes text about the automatic deletion function, two radio buttons ('自動データ削除機能を利用しない' and '自動データ削除機能を利用する'), and a '保存' button.

①メニューボタン

②保有期間設定

③データ整理実行

④自動データ削除設定

画面名	データ整理設定画面
-----	-----------

画面操作方法

- ◆データ保有期間を設定する
 - ①.「保有期間」を設定します
 - ②.「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます※保存したデータ保有期間はデータ整理時、及び自動データ削除機能実行時(iTERAN終了時)の送受信したデータファイルの削除時に利用します
- ◆データ整理を実行する
 - ①.「データ整理実行」ボタンを押します
 - ②.データ整理(データの削除)が実行され、保有期間外の送受信したデータファイルが削除されます
- ◆自動データ削除設定をする
 - ①.「自動データ削除機能を利用する」または「自動データ削除機能を利用しない」を選択します
 - ②.「保存」ボタンを押すことにより設定が保存されます